



今尾の子



令和4年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和5年2月1日

追い込みの時期



令和五年になって早一ヶ月が過ぎ、二月は、一年でもっとも寒い時期となります。しかし、今期の冬は、寒暖の差が激しい日々が続いたり、雪が降るほどの寒波の影響があったり、子供たちの健康も心配される所どころですが、冷たい風が吹く寒い日も、子供たちは朝から元気に運動場で遊んでいます。

一方、梅の花の便りがあちこちで聞こえはじめ、暦の上では、三日は節分、四日は立春と、春の訪れはもうすぐです。

流行するかと思われたインフルエンザは、大きく広がることはありませんでした。しかし、今後とも感染症について予断を許さない状況には変わりありません。家庭でも、健康観察、手洗いやうがい等の予防に引き続きご留意下さい。何をするにも健康な体があつてこそです。

一月十日の第三学期の始業式に、次のような話をしました。

『……2023年の今尾小学校も素晴らしい年に、皆さんでしていくために、生活や学習で、今まで以上に、よいことを「続ける」こと、よい習慣を確実に身に付けましょう。特に三学期は、一人一人が、そしてみんなで、小さな目標の達成とさらなる向上を繰り返しましょう。その土台になるのが、四つのいつも心がけるとよいことです。どんなことも丁寧に、「ハイ」の返事を、「ありがとう」の言葉を、最後に一番大切なこ

とは、命を大切にし、健康でいることです。三学期は、今までやってきたことの仕上げの学期であり、来年度、令和五年度に立ち向かうスタートの学期です。……』

三学期の中でも、二月は今年度の追い込みの時期です。つまり、学年の学習内容を学び終えて、忘れてしまっているところ、できてないことがないかを確認し、正しく身に付けて次の学年に進む最終段階の時期です。

そのために、繰り返し、繰り返し学び直し、追い込む時です。定期的に行うことを徹底しないと学んだことをすぐに忘れてしまいます。また、身に付かないまま学年が上がる、分からないことが倍増します。分かるまで、できるようになるまで、感じるようになるまで、自分で判断して行えるようになることが大切です。身に付いていないことに気付いて学び直す姿です。学習に関するだけでなく、生活面でも同じことです。よい習慣になつているかを見届ける必要があります。

毎日見ていると、あまり変化のない我が子でも、四月の頃と比べると随分変化、成長しています。親子で成長を確かめ合い、良くなったところは大いに認め、一緒に喜んであげて下さい。そして、目に見えるような結果が出ていなくても“がんばっている”ことには、大いにほめ言葉をかけてあげましょう。これがその子を伸ばす一番のポイントです。良い方向に動き出すと子供はグングン伸びていきます。

学年が上がっていくほど、素直さ、がんばりがないと、もっている力が伸びていきません。特に、素直さがないと学習でも生活でも向上しません。その土台が、「人の話を素直に聞ける」ことです。六年生には、人の話をうなずきながら聞いている子がたくさんいます。素直であることを認め、「がんばり続けることが大切だよ」と、親として、我が子に具体的に声をかけてあげて下さい。

学校も、子供たちに基本的な学力・生活力を付けるために追い込みをします。朝、家を出る時には、励ましの声をかけて下さい。その一言で子供の気持ちは随分と違うのです。よろしくお願いします。

今後も 感染予防対策の一層の徹底を

コロナ感染がまだまだ終息しなく、他の感染症も心配されます。外からウイルスを学校・家庭内へ持ち込まないためには、家庭の協力が不可欠です。

これまで行ってきた**基本的な感染予防対策**を今後もより一層の徹底を**家族ぐるみで**お願いします。また、**感染拡大させない**ために、本人はもちろんですが、同居のご家族で体調等が普段と少しでも異なる場合には、登校や出勤・外出を自粛し、自宅で休養してください。その場合は、学校へ連絡をお願いします。何卒今の状況をご理解いただき、ご協力を今後もよろしくお願いします。

(日比 修二)

